

令和7年度

ひらの 蓮田市立平野小学校

畜産体験・収穫体験



全学年

特色

- 体験はバターづくり、搾乳、食と「いのち」に関する講話などを組み合わせ、1日にわたって、食育に関する学習を各関係団体が連携して実施した。
- 校庭に乳牛がいるという非日常体験、酪農・農業を支える方々との交流を通して、体感的に学ぶことができた。教室だけでは得られない深い学びの機会となった。

児童の感想

- 「子牛とのふれあいをして、動物をより大切にしようと思った。給食の牛乳は残さず飲みたい。」
- 「牛はとても温かかった。お乳はただ握るだけでは出ないことがわかった。」

成果

- 搾乳体験やふれあい、講話を通じ、牛乳が届くまでに関わっている方々（生産・命・仕事）への理解が深まった。結果として、食べ物を大切にする姿勢や感謝の気持ちの醸成が期待でき、給食での牛乳の残量の減少が見られた。